

ケアプランデータ連携システム 活用促進モデル地域づくり支援事業

「ケアプランデータ連携システム活用促進モデル地域づくり支援事業」とは、厚生労働省が実施している介護サービスのDX（デジタル・トランスフォーメーション）推進の一環として、介護ソフト間でのケアプラン情報のデータ連携を通じて、地域全体の介護の質・効率を高めることを目的とした実証的なモデル事業です。

ケアプランデータ連携システムのフリーパスキャンペーンの内容

現在、「フリーパスキャンペーン」を実施中です。
申請日から1年間、ケアプランデータ連携システムを無料でご利用いただけます。「導入コストが気になる」「周りの事業所を誘いたいけれど、きっかけがない」そのようなお声にお応えし、業務改善の第一歩をライセンス料のご負担なく始められるキャンペーンです。



ケアプランデータ連携システム導入支援・伴走支援の様子



☑ 説明会の開催

本事業では、ケアプランデータ連携システムの普及に向けて、地域の介護事業所を対象としたセミナーを開催しています。セミナーでは、実際の操作方法や連携の具体的な手順、活用事例などをご紹介します。さらに、介護現場で有益なAIやICTツールの活用方法についても、同日または別日に活用セミナーを開催し、業務全体のIT活用による改善策をご提案しています。

☑ システム導入時の伴走支援

ケアプランデータ連携システムの導入時には、介護事業所様の事務所へ担当スタッフが直接訪問し、導入から運用まで丁寧にサポートいたします。顔が見える支援により、安心感や信頼感が得られるほか、事業所ごとの実情に応じた対応が可能です。実際に「不安なく導入できた」「現場に合った説明で理解が深まった」といった声もあり、システムの定着にもつながっています。

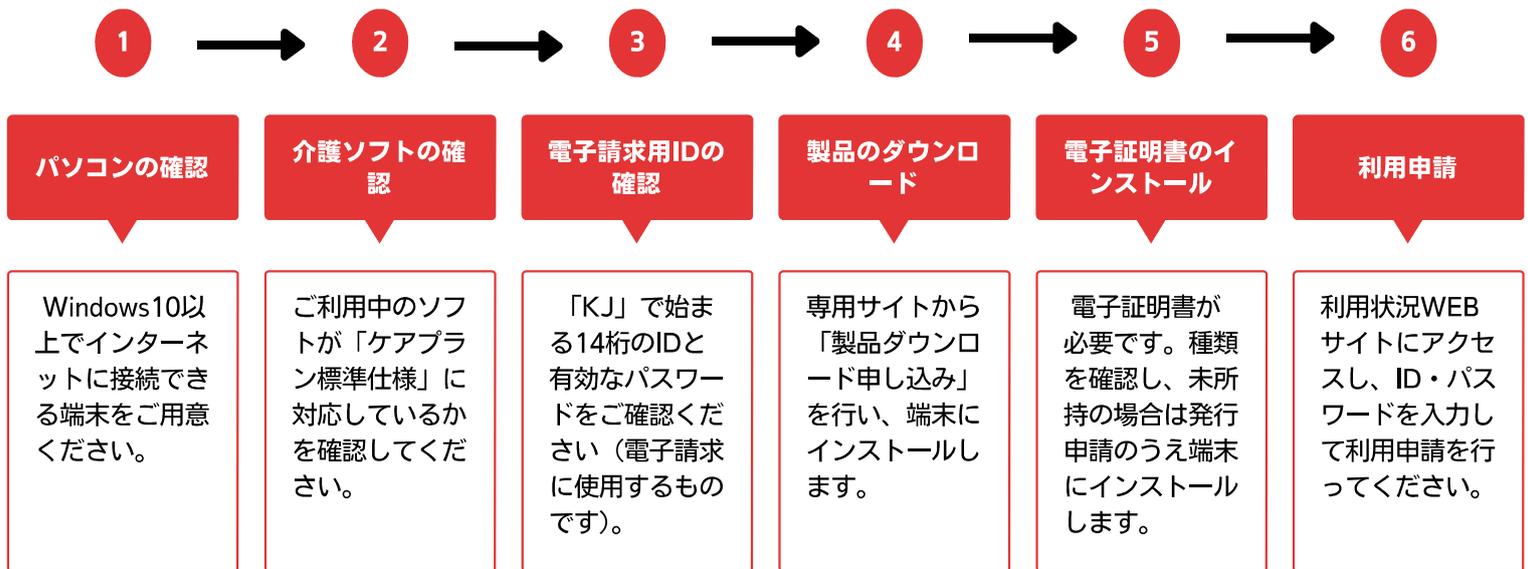


お問い合わせは
フォームで受付
しております



NPO法人
タダカヨ
タダでカイゴをヨくしよう!

ケアプランデータ連携システムの導入までの流れ



かんたん・あんしん・さくげんで、介護現場の業務を効率化！

- ☑ **かんたん** 計画書（第1表・第2表・第3表）や提供票（第6表・第7表）などのCSVファイルをドラッグ＆ドロップするだけで連携完了。郵送やFAXの手間を省き、業務をスマートに。
- ☑ **あんしん** 記載ミスや書類不備が減少し、手戻りが大幅に軽減。介護報酬請求と同様の高いセキュリティ方式を採用しており、安全性も確保。導入から運用まで、安心のサポート体制が整っています。
- ☑ **さくげん** やりとりにかかる時間を約3分の1に削減できる研究結果も。月額1,750円のご負担で、年間約80万円の業務コスト削減が見込まれます。費用対効果のシミュレーションも公開中。

伴走支援を受けた自治体様やサービス事業所様の声

- ☑ 「点ではなく“面”で広げる必要性を実感。今だからこそ導入」
法人内の複数事業所で連携して導入できたのは、タダカヨさんの支援体制と行政の皆様の後押しがあったからこそ。情報連携の真の価値を実感しています。
(法人事務局／地域統括責任者)
- ☑ 「“うちには難しい”と思っていたけれど…」
タダカヨのスタッフが来てくれて、一緒に操作して確認してくれたおかげで導入できました。“できた”という自信にもつながりました。
(デイサービス 管理責任者)
- ☑ 「説明だけでは動かない。タダカヨの“寄り添い型支援”が鍵でした」
データ連携の重要性は伝えてきましたが、実際に導入が進んだのは、タダカヨさんの伴走支援があったからこそ。個別訪問や説明会開催が地域の空気を変えました。
(自治体 担当係長)